

多摩大学 寺島実郎監修リレー講座 日程・講師		<各回木曜日 14:50～16:10>	
第1回	4月16日(木)	寺島 実郎 テラシマ ジツロウ	多摩大学 学長 (一財)日本総合研究所 会長 「世界認識と再構築 — 21世紀秩序と課題」
第2回	4月23日(木)	河野 龍太郎 コウノ リウタロウ	BNP バリバ証券 経済調査本部長・チーフエコノミスト 東京大学先端科学技術研究センター 客員教授 「日本経済の死角」
第3回	5月7日(木)	竹中 千春 タケナカ チハル	立教大学法学部 元教授 早稲田大学・上智大学・立教セカンドステージ大学兼任講師 一般財団法人 NHK 財団 理事 「分裂し緊張する世界の中のインド — その内政と外交」
第4回	5月14日(木)	韓 準祐 ハン ジュンウ	多摩大学グローバルスタディーズ学部 准教授 「観光まちづくり — 研究と実践を振り返る」
第5回	5月21日(木)	植木 雅俊 ウエキ マサトシ	仏教思想研究者 「思想闘争としての仏教史 原始仏教・小乗仏教・大乘仏教、そして法華経まで」
第6回	5月28日(木)	前嶋 和弘 マエシマ カズヒロ	上智大学総合グローバル学部 教授 「アメリカ政治外交の現在と世界、そして日本」
第7回	6月4日(木)	寺島 実郎 テラシマ ジツロウ	多摩大学 学長 (一財)日本総合研究所 会長 「歴史認識の中での日本近現代の意味」
第8回	6月11日(木)	桜田 一洋 サクラダ カズヒロ	慶應義塾大学医学部 教授 「AIを駆使して疾患に迫る ～新しい科学が拓く医療の地平～」
第9回	6月18日(木)	元村 有希子 モトムラ ユキコ	同志社大学生命医科学部 特別客員教授 科学ジャーナリスト 「科学・技術とどう向き合うか ～ケアとコミュニケーションの時代～」
第10回	6月25日(木)	高橋 彰 タカハシ アキラ	多摩大学経営情報学部 専任講師 「トランプ政権下で変容するアメリカ軍 ～軍事行動、同盟、国家戦略を起点として～」
第11回	7月2日(木)	後藤 謙次 ゴトウ ケンジ	白鷗大学 名誉教授 共同通信社 客員論説委員 「「高市最強政権」の現状と展望」(仮題)
第12回	7月9日(木)	寺島 実郎 テラシマ ジツロウ	多摩大学 学長 (一財)日本総合研究所 会長 「世界の構造変化の中で日本が進むべき道」

※講師敬称略

※講師の病气、事故、交通機関の乱れ、天災地変等、やむを得ず休講、講座時間を短縮する場合があります。その際の補講は実施しない場合もありますが、受講料は春学期リレー講座一括のため返金はいりませんのでご了承ください。
※お車でのご来校については、駐車場がないため公共交通機関のご利用をお願いいたします。

多摩キャンパス

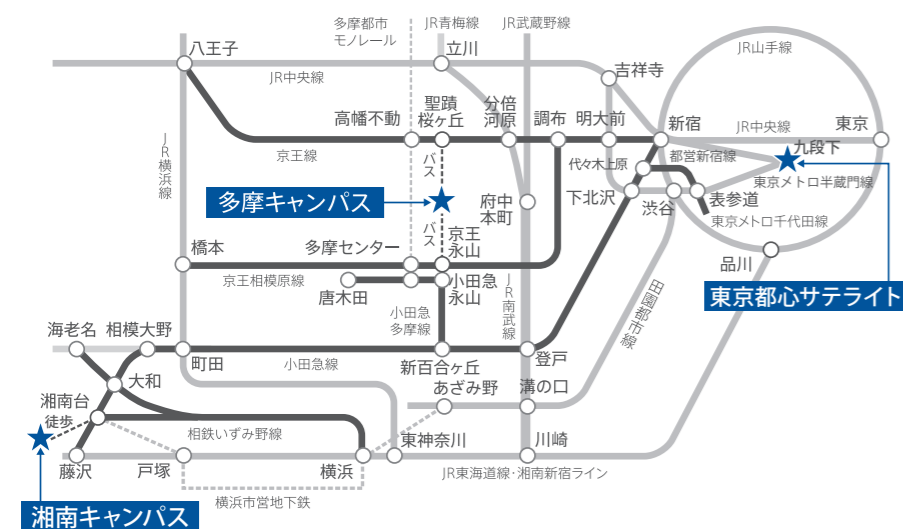
- 京王相模原線・小田急多摩線『永山駅』バス乗り場2番、多摩大学バス停 下車(バス15分)
- 京王線『聖蹟桜ヶ丘駅』バス乗り場12番、多摩大学バス停 下車(バス18分)

湘南キャンパス (ライブビューイング会場)

- 小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄『湘南台駅』下車(地下B・D出口から徒歩12分)

東京都心サテライト (録画放映会場)

- 地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線『九段下駅』下車(5番出口から徒歩3分)



日 程：春学期 全12回
(各回木曜日 14:50～16:10)
会 場：多摩大学多摩キャンパス 001 教室
定 員：200名(一般募集定員)
※多摩大生同時受講
受講料：一般 15,000円(全12回分)

特別割引受講料 13,000円
多摩市および稲城市在住の勤者、他大学学生、多摩大学後援会会員

【インターネットオンデマンド受講】
受講料：12,000円(全12回分)

【ライブビューイング受講】
受講料：8,000円(全12回分)
会 場：多摩大学湘南キャンパス
定 員：80名(一般募集定員)
※多摩大生同時受講

【録画放映受講】
受講料：8,000円(全12回分)
会 場：東京都心サテライト
定 員：25名
録画放映日・時間：原則講座開講当該週の土曜日
11:00～12:20

監 修：寺島実郎(多摩大学学長)
主 催：多摩大学
後 援：多摩市、多摩信用金庫
詳細情報は多摩大学ホームページをご覧ください。
<https://www.tama.ac.jp/>
お問い合わせ
●多摩大学寺島実郎監修リレー講座事務局
〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL: 042-337-7300 FAX: 042-337-7103
Mail: relay@gr.tama.ac.jp

変わる世界秩序と日本の針路

各界の碩学を講師として迎え、
リレー講座として日本と世界が置かれた歴史的位相を多面的な視点から再検討し、
その今日的課題を解析するプログラムを構築する。

講 師・日 程

寺島 実郎	4/16(木)、6/4(木)、7/9(木)
河野 龍太郎	4/23(木)
竹中 千春	5/7(木)
韓 準祐	5/14(木)
植木 雅俊	5/21(木)
前嶋 和弘	5/28(木)
桜田 一洋	6/11(木)
元村 有希子	6/18(木)
高橋 彰	6/25(木)
後藤 謙次	7/2(木)

日程 2026年4月～2026年7月(全12回)
各回木曜日 14:50～16:10
会場 多摩大学多摩キャンパス 001 教室

★インターネットオンデマンド受講
★ライブビューイング受講
会場 多摩大学湘南キャンパス(神奈川県藤沢市)
★録画放映受講
会場 東京都心サテライト(東京都千代田区)

現代世界解析講座XIX 2026年 春学期 変わる世界秩序と日本の針路

トランプ、習近平、プーチンという強権支配が際立つ中で、21世紀の世界秩序の構築が静かに進行しつつある。

その中で、日本は「埋没と沈黙」を続けるのか。日本に問われるのは柔軟で強靱な構想力である。日本の未来と、「大河の一滴」でもある個人の役割、生き方を模索していきたい。



監修 ^{テラシマ ジツロウ}
寺島 実郎
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長

PROFILE

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を歴任。文部科学省 日中韓大学間交流・連携推進会議委員、経済産業省 資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、国土交通省 国土審議会計画推進部会委員等、国の審議会委員も多数歴任。1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田大学名誉博士学位。近著に『世界認識の再構築 17世紀オランダからの全体知』（岩波書店）。その他に、『21世紀未来圏 日本再生の構想 全体知と時代認識』（岩波書店）、『ダビデの星を見つめて 体験的ユダヤ・ネットワーク論』（NHK出版）、『(寺島実郎監修)全47都道府県幸福度ランキング2024年版』（日総研出版）、『人間と宗教 あるいは日本人の心の基軸』（岩波書店）、『日本再生の基軸 平成の晩鐘と令和の本質的課題』（岩波書店）、『(佐高信共著)戦後日本を生きた世代は何を残すべきか われらの持つべき視界と覚悟』（河出書房新社）、『ジェロントロジー宣言「知の再武装」で100歳人生を生き抜く』（NHK出版新書）、『ひとはなぜ戦争をするのか 脳力のレッスンV』（岩波書店）、『ユニオンジャックの矢 大英帝国のネットワーク戦略』（NHK出版）、『シルバー・デモクラシー 戦後世代の覚悟と責任』（岩波新書）、『寺島実郎 中東・エネルギー・地政学—全体知への体験的接近』（東洋経済新報社）、『二十世紀と格闘した先人たち—一九〇〇年 アジア・アメリカの興隆』（新潮社）、『何のために働くのか—自分を創る生き方』（文春新書）、『大中華圏 ネットワーク型世界観から中国の本質に迫る』（NHK出版）等、著書多数。

第1回 2026年 4月16日(木)

「世界認識と再構築 — 21世紀秩序と課題」

^{テラシマ ジツロウ}
講師 **寺島 実郎**
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長

第2回 2026年 4月23日(木)

「日本経済の死角」



^{コウノ リュウタロウ}
講師 **河野 龍太郎**
BNPパリバ証券 経済調査本部長・チーフエコノミスト
東京大学先端科学技術研究センター 客員教授
PROFILE
1987年横浜国立大学経済学部卒業。住友銀行、大和投資顧問、第一生命経済研究所を経て、2000年よりBNPパリバ証券。2023年7月より東京大学先端科学技術研究センター客員上級研究員、2025年6月より客員教授。著書に『日本経済の死角』（ちくま新書）、『成長の臨界』、『グローバルインフレーションの深層』（共に慶應義塾大学出版会）等。

第3回 2026年 5月7日(木)

「分裂し緊張する世界の中のインド—その内政と外交」



^{タケナカ チハル}
講師 **竹中 千春**
立教大学法学部 元教授、早稲田大学・上智大学・立教セカンドステージ大学兼任講師
一般財団法人NHK財団 理事
PROFILE
立教大学法学部元教授、早稲田大学・上智大学・立教セカンドステージ大学兼任講師。専門は国際政治、南アジア研究。一般財団法人NHK財団理事、アジア政経学会理事長(2013-15)、日本平和学会会長(2020-21)。主著に『世界はなぜ仲良くできないのか？ 暴力の連鎖を解くために』(2004)、『盗賊のインド史—帝国・国家・無法者』(2010)、『ガンディー 平和を紡ぐ人』(2018)。

第4回 2026年 5月14日(木)

「観光まちづくり—研究と実践を振り返る」



^{ハン ジュンウー}
講師 **韓 準祐**
多摩大学グローバルスタディーズ学部 准教授
PROFILE
立教大学大学院観光学研究科博士課程修了(観光学博士)。立教大学アジア地域研究所特任研究員、立命館アジア太平洋研究センター客員研究員、立命館大学文学部地域研究学域特任助教を経て現職。主なテーマは、観光まちづくり、ダークツーリズム、身体障害者の余暇活動。共著に『地域観光と国際化』、『Building Tourism-Based Sustainable Communities in Sparsely Populated Areas』(2026 予定) など。

第5回 2026年 5月21日(木)

「思想闘争としての仏教史 原始仏教・小乗仏教・大乘仏教、そして法華経まで」



^{ウエキ マサトシ}
講師 **植木 雅俊**
仏教思想研究家
PROFILE
1951年、長崎県島原市生まれ。NHK文化センター講師。九州大学卒。理学修士(九州大学)、人文科学博士(お茶の水女子大学)。東方学院で中村元氏からインド仏教思想、梵語を学ぶ。NHK-Eテレ100分de名著で『法華経』等の指南役を務める。著訳書に『思想としての法華経』(岩波書店)、『差別の超克—原始仏教と法華経の人間観』(講談社学術文庫、博士論文)、『法華経とは何か—その思想と背景』(中公新書)、『法華経と対照—現代語訳 法華経』上下巻(岩波書店、毎日出版文化賞受賞)、『サンスクリット版全訳 維摩経—現代語訳』(角川ソフィア文庫)、『法華経とは何か—その思想と背景』(中公新書)、『Gender Equality in Buddhism, Asian Thought and Culture series vol. 46.』(Peter Lang Publ. Inc.)。

第6回 2026年 5月28日(木)

「アメリカ政治外交の現在と世界、そして日本」



^{マエシマ カズヒロ}
講師 **前嶋 和弘**
上智大学総合グローバル学部 教授
PROFILE
専門は現代アメリカ政治外交。静岡県生まれ。上智大学外国語学部英語学科卒、ジョージタウン大学大学院政治学部修士課程修了(MA)、メリランド大学大学院政治学部博士課程修了(Ph.D.)。主な著作は『キャンセルカルチャー』(小学館、2022年)、『アメリカ政治とメディア』(北樹出版、2011年)、『アメリカ政治』(共著、有斐閣、2023年)、『アメリカ現代政治とメディア』(共編著、東洋経済新報社、2019年)、『危機のアメリカ「選挙デモクラシー」』(共編著、東信堂、2020年) など。

第7回 2026年 6月4日(木)

「歴史認識の中での日本近現代の意味」

^{テラシマ ジツロウ}
講師 **寺島 実郎**
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長

第8回 2026年 6月11日(木)

「AIを駆使して疾患に迫る—新しい科学が拓く医療の地平—」



^{サクラダ カズヒロ}
講師 **桜田 一洋**
慶應義塾大学医学部 教授
PROFILE
1962年岡山県生まれ。大阪大学大学院修士課程を修了。協和発酵でゲノム創薬や再生医療の研究を行い、その後バイエル薬品で執行役員リサーチセンター長を務める。2008年からソニーコンピュータサイエンス研究所でAIの基礎研究を開始。2016年より理化学研究所でAIと医学を融合した研究を開始。2021年より現職。博士(理学)。近著『亜種の起源 苦しみの波のように』(幻冬舎)。

第9回 2026年 6月18日(木)

「科学・技術とどう向き合うか—ケアとコミュニケーションの時代—」



^{モトムラ ユキコ}
講師 **元村 有希子**
同志社大学生命医科学部 特別客員教授、科学ジャーナリスト
PROFILE
北九州市生まれ。1989年毎日新聞入社。2001年、東京本社科学環境部、日本の科学技術と社会との関係をつづった連載『理系白書』により06年の第1回科学ジャーナリスト大賞を受賞。科学環境部長、論説副委員長などを経て2024年春退職(客員編集委員)。現在は京都に拠点を置き、同志社大学でサイエンスコミュニケーションを教える。主な著書に『科学日録』(毎日新聞出版)『力ガク力を強くする!』(岩波ジュニア新書)『コロナ禍、誰が何を伝えたか』(東京化学同人、共著)など。TBS『サンデーモーニング』、RKB『サンデーウォッチ』コメンテーター。

第10回 2026年 6月25日(木)

「トランプ政権下で変容するアメリカ軍—軍事行動、同盟、国家戦略を起点として—」



^{タカハシ アキラ}
講師 **高橋 彰**
多摩大学経営情報学部 専任講師
PROFILE
厚生労働省(国家I種法律職)で新型インフルエンザや東日本大震災対応など、危機管理や省内統括部門を中心に勤務。退職後、英国グラスゴー大学で国際安全保障学(社会・文化論)の修士号取得。エジンバラ大学博士課程(政治学・国際関係学)中途退学などを経て現職。専門は安全保障、批判的安全保障(CSS)、対テロ政策・過激化対策。

第11回 2026年 7月2日(木)

「「高市最強政権」の現状と展望」(仮題)



^{ゴトウ ケンジ}
講師 **後藤 謙次**
白鷗大学 名誉教授、共同通信社 客員論説委員
PROFILE
1949年東京都出身。早稲田大学卒業後、共同通信社入社。札幌支社などを経て82年から本誌政治部。2002年政治部長、06年編集局長、07年12月TBSテレビ「NEWS23」キャスター、テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーターなど。現在はフリー。2024年日本記者クラブ賞受賞。第72回菊池寛賞受賞。週刊ダイヤモンド「永田町ライブ!」など執筆中。著書に「竹下政権576日」「ドキュメント平成政治史」(全5巻)など。

第12回 2026年 7月9日(木)

「世界の構造変化の中で日本が進むべき道」

^{テラシマ ジツロウ}
講師 **寺島 実郎**
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長